

20年セ試に6大学・4短大が新規参加！ 青山学院大 文、日本大 生物資源科学も新たにセ試利用

平成18年12月 旺文社 教育情報センター

平成20年入試からセンター試験（以下、セ試と略）を新たに利用する私立大学・学部および公私立短大・学科が、18年12月に文部科学省より発表された。私立大では6大学、短大では4短大が新規に参加する。19年3月末にも、第2弾として新規参加大学（学部）・短大（学科）の予告申請があり、その際に大学・短大のセ試参加の全容が明らかになる。

私立大では18年開設の了徳寺大など6大学6学部、短大では岐阜市立女子短大や滋賀女子短大など4短大11学科（うち公立は3短大8学科）がセ試に新規参加する。このうち、公立の千葉県立衛生短大（21年から4年制の「千葉県立保健医療大<仮称>」に改組予定）と川崎市立看護短大は、一般入試の募集人員の全てをセ試利用入試に転換する。また、既にセ試を利用している大学・短大で、新たに利用学部・学科を増やしたのは、青山学院大 - 文、日本大 - 生物資源科学、立命館大 - 映像など5大学5学部と、新見公立短大 - 幼児教育、神戸常盤短大 - 健康文化など4短大4学科である（以上、p.3に一覧を掲載）。

これで、セ試に参加する私立大は457大学1,243学部、公私立短大は154短大379学科（18年10月末現在：p.2のグラフ①を参照）となった。学校数で見ると、全私立大の8割超（81%）、全短大のほぼ4割（39%）を占める。

なお、新規参加の各大学・短大および学部・学科の募集人員と利用科目については、後日発信する当サイトおよび『螢雪時代』2007年2月号（1月12日刊行予定）を参照されたい。

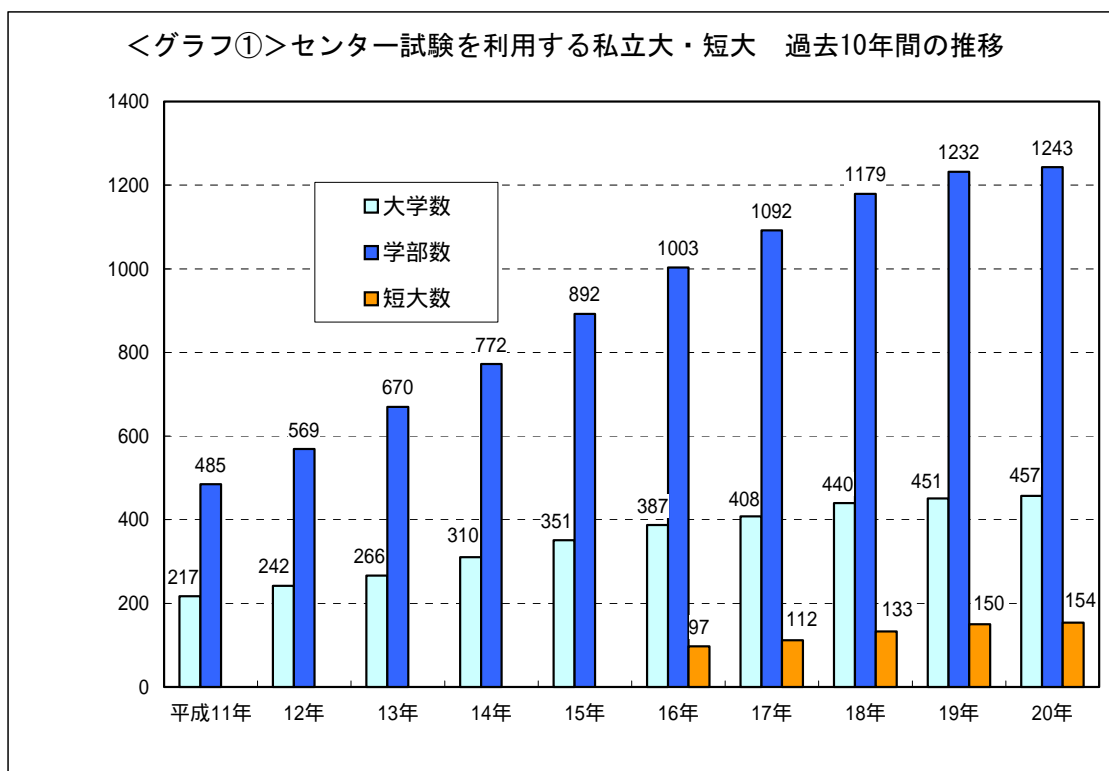
【利用科目】私立大では「セ試2～3科目、個別試験なし」が一般的で、今回発表の新規利用大学・学部もそのパターンが多い。難関校に多い5教科以上の“重量級”入試は見られないが、立命館大 映像では3教科型、後期型（3教科）などとともに「4教科型」を実施する。また、秋田看護福祉大（後期）、藍野大、昭和大 保健医療といった医療系や武蔵野美大では、個別試験（面接や実技など）を課している。

短大では「セ試1～2科目、個別試験なし」が多数派だが、千葉県立衛生短大・川崎市立看護短大と岐阜市立女子短大 - 食物栄養では3科目を課し、川崎市立看護短大、岐阜市立女子短大 - 生活デザインは面接を課す。なお、プール学院大短大では、浪人生向けに「18年度セ試の成績利用も可」としている。

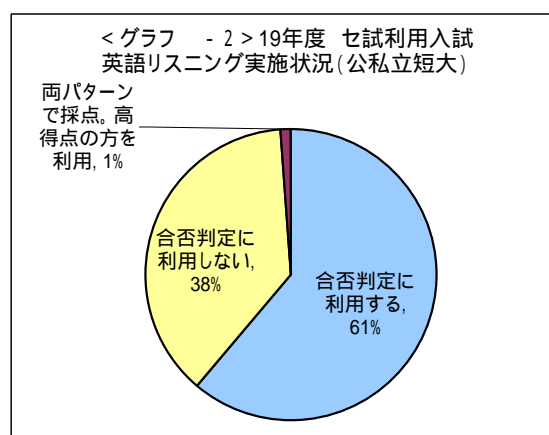
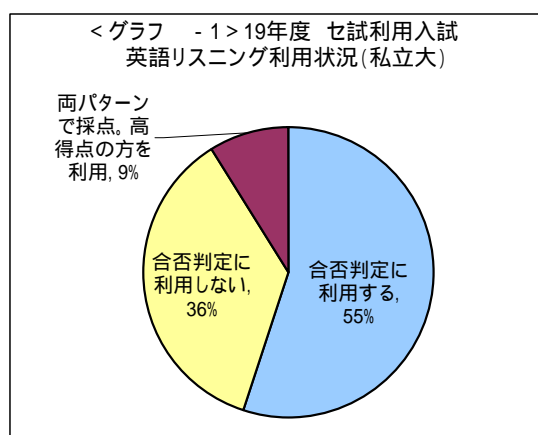
【英語リスニングへの対応】18年度セ試から始まった英語のリスニングテストは、セ試の英語受験者全員が受験しなければならない。しかし、旺文社調査（18年12月時点）によると、19年度でセ試利用入試を行う私立大のうち、リスニングを必ず「合否判定に利用」する学部・学科は全体の55%に過ぎず、「利用しない」も36%に達する。さらに公私立短大でも、英語を課す（または選択可能な）学科のうち、リスニングを必ず「合否判定に利用」する学科は全体の61%に留まり、「利用しない」も38%を占める（p.2のグラフ②を参照）。ちなみに、国公立大では全体の95%（大学単位の集計）がリスニングを合否判定に利用している。

そして20年度の新規参加校では、私立大が日本大 - 生物資源科学の全11学科など、英語を課す(または選択可能な)41学科中31学科で「リスニングの成績は利用しない」としており、短大でも15学科中12学科で「利用しない」としている。さらに、立命館大 - 映像とプール学院大短大部 - 幼児教育保育では、リスニングを含む場合と含まない場合の得点を算出し、高得点の方を合否判定に利用する。

私立大・短大のセ試利用入試では、必ず「合否判定に利用する」学部・学科でも、英語を選択しなくて済むケースも多く、リスニングの利用度は国公立大ほど高くないといえる。リスニングが苦手な受験生でも、志望校の入試科目を募集要項や入試ガイドで確認したうえで、恐れずチャレンジしてみよう。



(注)短大は16年から参加。19年および20年の大学・学部数および短大数は、18年10月末現在。



(注)私立大は学部(または学科)単位、公私立短大は学科単位の集計(外国語必須、または選択可能な学部・学科のみ)。

平成 20 年度／センター試験 新規利用大学・学部一覧（18 年 10 月現在）

〔凡例〕カッコ内は募集人員。＊＝英語でリスニングの成績を利用しないことを示す。＝英語で「リスニングの有無で高得点の方を合否判定に利用」を示す。

①20 年度から新たに利用する私立大学（6 大学 6 学部）

函館大 - 商(12)＊

秋田看護福祉大 - 看護福祉(17)＊

了徳寺大 - 健康科学(6)＊

（注：「徳」の字は、正しくはつくりの中央に横一文字が入る）

武蔵野美大 - 造形(156)＊<注：11 学科中、デザイン情報学科(15 人)のみリスニングを利用>

鶴見大 - 文(16)＊<注：4 学科中、英語英米文学科(5 人)のみリスニングを利用。また、文化財学科(3 人)は英語を課さない>

藍野大 - 医療保健(14)

②既参加大学で、新たに参加学部を増やす私立大学（5 大学 5 学部）

青山学院大 - 文(15)

日本大 - 生物資源科学(90)＊

昭和大 - 保健医療(16)＊<注：3 学科中、理学療法学科(3 人)のみリスニングを利用>

立命館大 - 映像(15)

岡山学院大 - キャリア実践(5)

平成 20 年度／センター試験 新規利用短大・学科一覧（18 年 10 月現在）

〔凡例〕カッコ内は募集人員。＝「前年度のセ試の成績利用可」を示す。＊＝英語でリスニングの成績を利用しないことを示す。＝英語で「リスニングの有無で高得点の方を合否判定に利用」を示す。

①20 年度から新たに利用する公私立短大（4 短大 11 学科）

千葉県立衛生短大<公立> - 第一看護(56)＊・歯科衛生(26)＊・栄養(35)＊

川崎市立看護短大<公立> - 看護(40)＊

岐阜市立女子短大<公立>-英語英文(20)・国際文化(10)・食物栄養(5)＊・生活デザイン(10)＊

滋賀女子短大 - 生活(2)＊・幼児教育保育(4)＊・ビジネスコミュニケーション(3)＊

②既参加短大で、新たに参加学科を増やす私立短大（4 短大 4 学科）

新見公立短大<公立> - 幼児教育(3)＊

大阪国際大短大部 - 幼児保育(3)＊

プール学院大短大部◎ - 幼児教育保育(6)

神戸常盤短大 - 健康文化(3)＊